

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
平戸市	生月地区	R2年12月28日	—

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	29ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	29ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	11.3ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	7.4ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体を引き受ける意向のある耕作面積の合計	3.6ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・担い手等が確保できていない ・耕作条件の悪い農地がある ・農業所得が低い ・法面や水路農道等の管理が過重な負担となっている ・鳥獣被害が深刻であり耕作意欲が減退している

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none"> ・集落の農地利用は集落内の中心経営体のほか、入り作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することで対応していく

(参考) 今後の地域の中心となる経営体について

○経営体数 法人 経営体 個人 5経営体

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<ul style="list-style-type: none"> ・協定外で担い手を確保する
<ul style="list-style-type: none"> ・省力化技術の導入や外注化等により労働負担の軽減を図る
<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害防止対策の実施
<ul style="list-style-type: none"> ・協定参加者だけでは検討が困難であり、外部(市町村、都道府県を含む)からの助力を得たい
<ul style="list-style-type: none"> ・法人など後ろ盾がしっかりしているものなら、斡旋するのは可能